

つくば市記者会 御中

発信日：令和4年（2022年）5月16日（月）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 科学技術振興課

☐取材依頼 ☒周知依頼 ☒募集告知 ☐その他

令和4年度つくばSociety 5.0社会実装トライアル支援事業
地域課題の解決に資する先端技術の実証実験を募集しています

6年目を迎えた「つくばSociety 5.0社会実装トライアル支援事業」。今年度は、以下のとおり募集しています。詳細は別紙をご参照ください。

1 募集部門

① 課題設定部門

「誰もが幸せを感じるスマートシティ・テクノロジー」をテーマに、SDG s の目標4と8に関連した障害者の能力発揮をサポートするための科学技術に関するトライアル

② フリー部門

提案者が独自にテーマを設定したトライアル
(本市の課題解決につながる提案)



2 トライアル支援内容

- ・経費の支援（上限100万円）
- ・コーディネート：市民モニター等のあっせん、専門家からの助言機会の提供
- ・継続フォロー：市場・市民向けニーズ調査、市政サービスでの導入検討 など

3 対象者

教育機関（中学校～）、企業（個人事業主も可）、研究機関

※各機関において責任者と構成員が明確な場合は、部署・研究室単位の応募も可

4 募集期間

令和4年5月12日（木）～6月10日（金）

5 採択件数

①②合わせて5件（うち1件スタートアップ賞）

6 提案方法

企画提案書等を専用サイトの応募フォームから送信



応募フォーム

1 背景・目的

- 国が第5期科学技術基本計画で提唱する「Society 5.0」という未来社会の実現に向けて、つくばをフィールドとしたトライアルの支援を通じて、先端技術等による新たな社会の構築を図る。
- 未来社会を先導する先進的な取り組みを呼び込み、つくば市の課題解決や市民生活の向上、地域経済の活性化を目指す。
- 先進技術等の実用化を支援することで、新たなビジネスモデルの開拓を加速させる。

2 R4年度事業内容

○企画提案募集

Society 5.0の実現及び本市の課題解決に向けた製品やサービス等の有効性の立証、データ収集等のための、つくば市内におけるトライアル（実証実験）を広く募集

○募集部門

①課題設定部門

テーマ：誰もが幸せを感じるスマートシティ・テクノロジー

課題：障害者の能力発揮をサポートする科学技術

②フリー部門

本市の課題解決につながる提案

※提案者が独自にテーマを設定し、本市のいずれの課題解決に資するものか明らかにすること

○審査

一次審査（書類）、最終審査（プレゼン）を経て、

①課題設定部門・②フリー部門：合計5件採択

（うち1件スタートアップ賞）

○トライアル支援

①**トライアル費用支援**：費用支援100万円（上限）

②**トライアルのコーディネート**：市民モニター等あっせん、専門家からの助言等

③**継続フォロー**：市場・市民向けニーズ調査、市政サービスでの導入検討等



障害×IoT、動作×センシング、
職業訓練×XR、教育×メタバース 等々

[スケジュール]

- ・ 募集期間 5/12 ～6/10
- ・ 一次審査 6月末
- ・ 最終審査 7月中旬
- ・ 実験期間 採択～3/15

令和4年度つくば Society 5.0 社会実装トライアル支援事業課題

(1) 企画提案内容

企画提案の内容は、「Society5.0」という未来社会の実現を目指し、本市の地域課題解決につながることを想定した先端技術・アイデア等の市内でのトライアルに関するものとする。なお、市がテーマと課題を設定する「課題設定部門」と、提案者が市の課題解決のためのテーマを設定する「フリー部門」で公募する。

なお、一次審査においては「課題設定部門」の提案を優先する。

①課題設定部門

●テーマ：「誰もが幸せを感じるスマートシティ・テクノロジー」

●課題

SDG s 目標	ターゲット	本市の問題意識
4 質の高い教育をみんなに 	4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。	1 つくば市未来構想で掲げる「誰もが幸せを感じる未来をつくる」ため、障害者が、健常者と同等のフィールドで競争できる科学技術を基盤とする専門技能を習得する上で、<u>障害をサポートする入力機器、出力機器及びアプリケーションソフトの性能・操作性が十分とは言えない。</u>
8 働きがいも経済成長も 	4.5 2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民および脆弱な立場にある子どもなど、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。 8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕	2 障害者が、専門技能を習得できる<u>教育や職業訓練の機会が十分とは言えない。</u> 3 障害者が、高付加価値の専門技能を発揮できる<u>サービスやシステムの提供が十分とは言えない。</u>

	事、並びに同一労働同一賃金を達成する。	
--	---------------------	--

②フリー部門

本市の課題解決につながる提案

※提案者が、独自にテーマを設定する。ただし、本市の課題解決に資することを明らかにすること。

なお、この部門での課題は、課題設定部門に掲げた課題に限定しない。

（２）企画提案の対象範囲

本市が問題意識として掲げた課題を解決するための技術・製品やサービスの実証実験を募集する。参考として、以下にトライアルのイメージを示すが、あくまで企画提案のイメージを掴むための一例であり、対象範囲を限定するものではなく、提案については幅広に受け付ける。

【コア技術等】

トライアルのコア技術等については、IoT (Internet of Things)、ビックデータ解析、人工知能、ネットワーク、コンピューティング、ロボティクス、センシング、XR、メタバース、サイバーセキュリティ等に関する技術が想定される。

【対象施設・モニター】

トライアルの実施対象施設は、つくば市内の公園や学校、公道などの公共施設及び商業施設、病院、市役所などが想定される。

また、トライアルに必要なモニターは、つくば市が公募することが想定される。
※実証実験の内容、新型コロナウイルスの影響等によって、施設所有者の了解が得られない、希望する日・時期に実施できない場合は計画の変更を求める場合がある。

【実験内容】

コア技術等を活用し、市民の健康・介護・福祉などのサービス維持や向上、移動・買い物・食事などのこれまでに近い生活スタイルの確保、新しい働き方のための教育サービスや安全・柔軟なワークスタイルの実現、産業・観光・農業の新たな発想による経済活性化など、民間・行政サービスの向上による市民生活の向上・地域活性化を目指すものとする。例えば、人工知能技術を基盤とし、障害×IoT、移動×ロボティクス、動作×センシング、職業訓練×XR、教育×メタバース、情報発信×サイバーセキ

ュリティなど、社会実装を念頭に置きつつ、本市の課題解決につながり、また様々な分野の利便性や魅力の向上につながる様々な商品やサービス等の有効性の立証、データ収集等のための実証実験が想定される。

【その他】

トライアルの実施（準備を含む。）に長期間を要するもの、トライアルの場所が広域であるもの、モニターを多数要するもの、大掛かりな設備やインフラ整備を要するもの、法律の改正や規制緩和が必要となるものなど、当初から本事業のスキームでは対応が困難であることが想定されるトライアルについては本事業の対象外とし、別途個別相談案件として対応するものとする。